

自然草地緑化技術



芝生と野草の混植による自然草地の緑化技術

お客様のメリット

- 緑一色の芝生地に、多年草などを共存させることにより、彩色豊かな花が咲く草地ができます。
- 花は根張りの強い芝とも共存ができ、さらに自然更新が出来るものを選抜しています。
- 踏圧と被覆力の強い野草種が植え付けられているため、人が立ち入ることができます。
- 芝、花とも草丈が30cmを越えない草種を選定しているため、3回/年程度の刈込で維持できます。

技術の特徴



野草(ヘビイチゴ) 部分拡大

2005年6月「景観緑三法」が施行され、この中で都市における緑地の保全、緑化や都市公園の整備を推進することを求めており、今後、景観性が高く、利用意義の高い緑地へのニーズは増えていくことが想定できます。

これまで公園など立ち入ることができる緑地は踏圧に強い芝のみでした。また、花を楽しむ緑地はほとんどが一年草の外来種で、季節ごとの植替管理が必要でした。これを、日本芝でベースの植生を造成し、日本在来の花野草を混植させることで、自然の景観に近く、人が立ち入って草花を楽しむことができる緑地を実現しました。

特許出願済

実績・事例

■提案2件 実施1件



イメージ図